

真鍋淑郎氏ノーベル賞

物理学賞 地球温暖化を予測

【ストックホルム＝共同】スウェーデンの王立科学アカデミーは五日、二〇二一年のノーベル物理学賞を、真鍋淑郎・米プリンストン大上席研究員(九〇)＝愛媛県出身、米国籍＝ら三氏に授与すると発表した。真鍋氏は大気と海洋の循環を考慮した気候変動のモデルを開発。二酸化炭素などの温室効果ガスに着目し、地球温暖化の予測に関する先駆的な研究を続けた業績が高く評価された。

真鍋氏は、一九五〇年代から気象に関する研究に従事。大気の流れと海洋の循環を組み合わせ、長期的な気候の変化をコンピュータ上でシミュレーションする「大気・海洋結合モデル」を開発した。

◇
真鍋氏は二〇〇七年十二月から一四年三月まで、名古屋大特別招聘教授を務めた。



真鍋淑郎・米プリンストン大上席研究員＝2017年